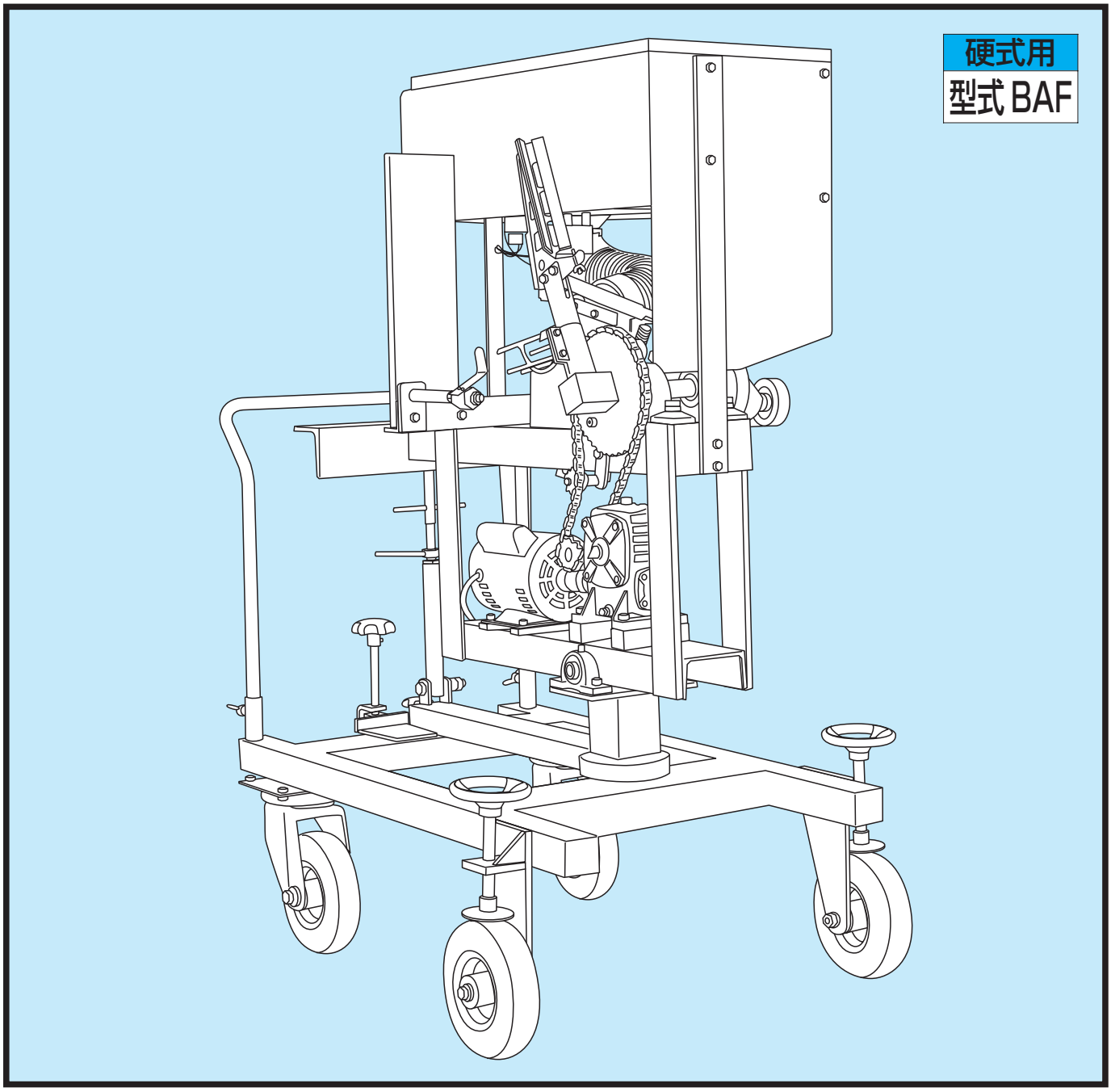
ARM TYPE PITCHING MACHINE

アームマシーンBAFタイプ

取扱説明書　■ご使用前に必ずお読みください。



このたびは、弊社のピッチングマシーンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- 事故や、マシーンの故障を防ぐ為に、マシーンの使用前に必ず、この取扱説明書を注意深く読み、よく理解した上で使用してください。
- この取扱説明書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

※本書はマシーン使用者が、**いつでも読めるところに必ず保管**してください。
※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、**正しくお使いください**。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、**あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもの**です。
※このマシーンは野球の練習以外には使用しないでください。
※絵表示と意味は次のようになっています。
※図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

⚠ **危険** 取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容を示しています。

⚠ **警告** 取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容を示しています。

⚠ **注意** 取り扱いを誤った場合、**「傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」**内容を示しています。

禁止の行為であることを告げるものです。

感電の恐れがあることを告げるものです。

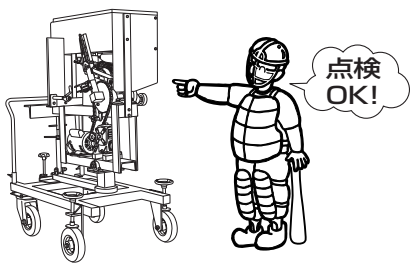
行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

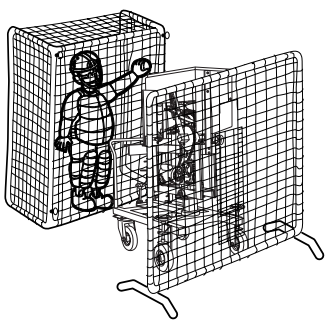
守っていただくべき義務行為を示しています。

発火の可能性のあることを告げるものです。

⚠ 危　険

- マシーンの取り扱いは、マシーンの危険性をこの説明書でよく理解された方が行ってください。
- 事故を防ぐ為に**マシーン使用前にはマシーン本体（リード線・ハンド・ウデ・スプリングなど）に異常がないか点検してください。特にウデに亀裂等がある場合は、ウデが飛んでいく恐れがあり大変危険です。必ず交換してください。**
- **マシーンを使用する時は、マシーン前ネット・マシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を設置し、マシーンを操作する人は安全の為に必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を着用してください。**
- **複数の打席で、同時にバッティング練習するときには、他打席の打球にも十分注意してください。**
- **破れたネットは打球が突き抜けてきて危険ですから、使用前に異常箇所が無いか確認してください。**

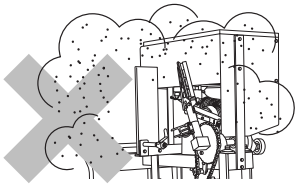




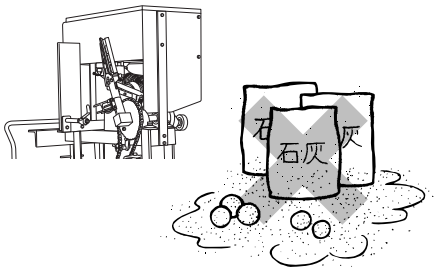
使用時の注意

⚠ 危　険

マシーンが2～3回空打ちをしても、マシーンを停止させるまで、絶対にマシーンの前に出ないでください。ボールストッカー内にボールが残っている場合があります。

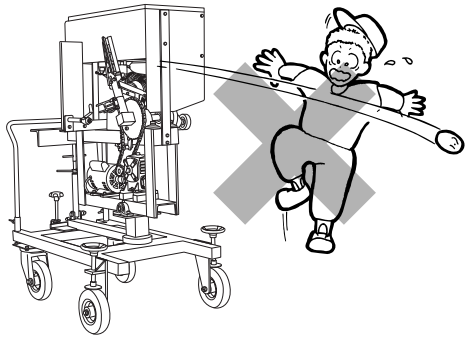


マシーン使用中にマシーンの振動が大きくなったり、異音がした場合は、直ちにマシーンの使用を中止し、直ちにコンセントを抜いてください。



マシーンは屋内で湿気やほこりの少ない場所に保管し、石灰と同じ場所には保管しないでください。石灰は空気中の水分を集めますので、湿気により商品の耐久性が落ちたりします。

球速やコントロールの調整時は大変危険ですからキャッチャー、バッターは定位置に付かないでください。

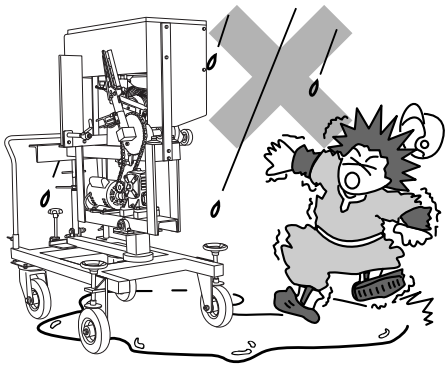


マシーン運転中は、危険ですから絶対にマシーンの前を横切らないようにしてください。

ボール投入時には、必ず声を出してバッターに合図をしてください。

回転している部分には、絶対に触れないでください。

雨の日は、絶対にマシーンやコードリールを使用しないでください。また、マシーンやコードリールは水などで濡らさないように注意してください。
濡れた手で電源プラグに触ると感電の危険性があります。



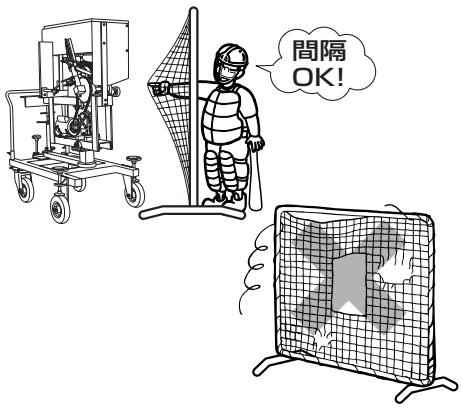
マシーンに表示されているボール以外は使用しないでください。ボールのスピードが変わり、コントロールが定まらなかったりして大変危険です。

ボールストッカーを持ってマシーンを移動させないでください。ボールストッカーが変形し、コントロールが悪くなります。また破損・故障の原因にもなります。

安全上のご注意 ⚠ 必ず守ってください

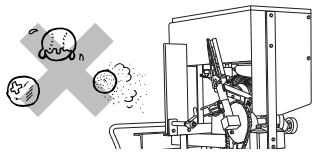
⚠ 警　告

マシーンの前には、マシーン前ネットをネット部をマシーン側に軽く押して、マシーンのアーム部に接触しない間隔をあけて設置し動かないように固定してください。特に古くなりたるんだネットやロープが切れてぶらさがっているネットは、修復して使用してください。回転している部分に巻き込む恐れがあり大変危険です。

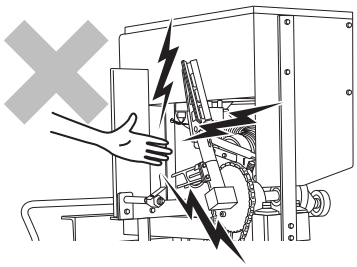


アースを接続しないと感電する恐れがありますので、アースは必ず接続して使用してください。

マシーン使用中は､マシーンの周辺及び使用範囲（ボールが届くと思われる範囲）には、関係者以外近づけないようにしてください。



革や糸が切れているボール、変形しているボールなど、傷みのひどいボールは使用しないでください。ボールがスリップして予想外の方向に飛ぶ恐れがあり大変危険です。

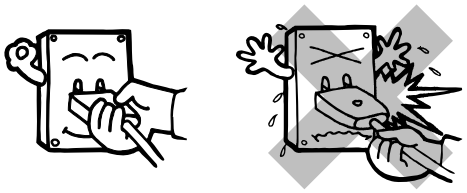


マシーンは絶対に分解しないでください。

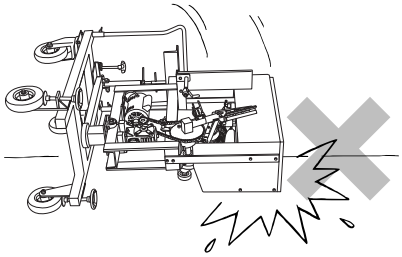
弊社指定部品以外の部品は使用しないでください。

⚠ 注　意

差し込みプラグは、必ず根元を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になり、大変危険です。



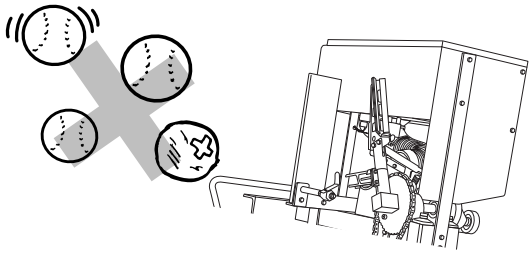
マシーンの移動はスイッチを切りマシーンが完全に静止したのを確認してから転倒させたり、ぶつけたりしないように注意して移動させてください。
※グランドはぬかるんだりして転倒につながる可能性が多くありますので注意してください。



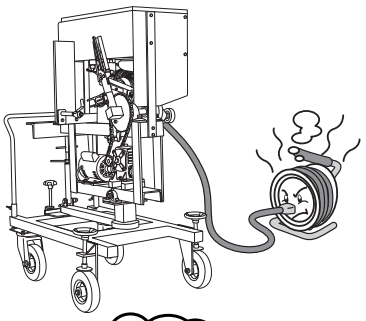
使用時の注意

⚠ 注　意

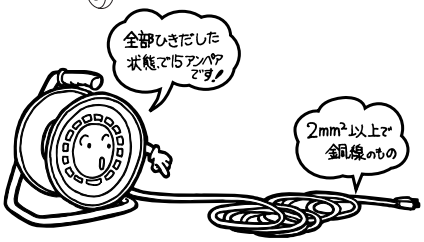
濡れたボールは使用しないでください。スリップしてコントロールが悪くなります。



マシーンの仕様に応じたボール以外は使用しないでください。



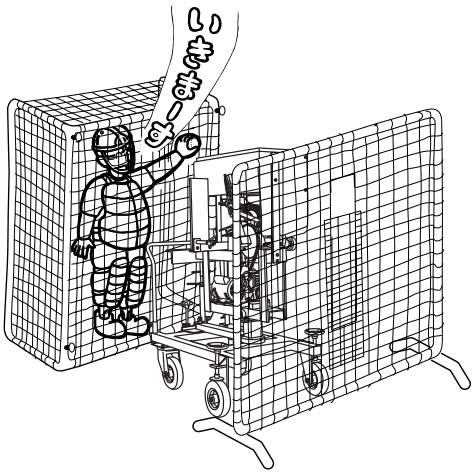
硬さの一定しないボール・大きさの異なるボール・傷みのひどいボール、また、これらをまぜて使用すると、コントロールが悪くなります。



コードリールのコードは全部引き出して使用してください。
巻いたまま使用すると、コードが発熱し、被覆が溶けてショートすることがあり大変危険です。(燃えることもあります。)

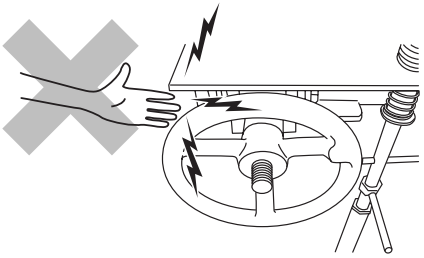
コンセント仕様：2P・15A・125V
電　線　仕　様：VCT2.0mm²×2

ボール投球時は、必ず周囲の安全を確認してください。



スピード調整直後はコントロールが悪くなる恐れがあります。

マシーン本体分割時や車載する際は指などを挟まないように注意してください。



マシーンの特長

- ボールが常に打者から見え、タイミングがとりやすくなりました。
- 大型空気入りタイヤの採用でマシーンの移動が楽になりました。
- 投球後の振動を抑える静音設計により、マシーンは安定し正確なコントロール性能を実現。
- 連続120球のボール供給を可能にした、新構造ボールバケットで球づまりのしにくい設計です。
- 新構造軽量ハンドでウデやその他部品への負担が軽減し、耐久性も向上しました。
- 減衰ロール（特許出願中）をスプリング上部に配置。従来アームマシーンに比べ静音設計。
- フリーハンガーの採用により、耐久性が向上しました。

マシーンが到着したら

- 到着したマシーンが、注文された商品であることを確認してください。
  〈品番・使用電圧・使用球など〉

! 到着したマシーンが、運送途中、その他のトラブルなどで損傷、破損している箇所がないか慎重に点検・確認してください。万一、損傷・破損が認められた場合は、運送会社もしくは、購入先の販売店まで至急ご連絡ください。この場合は、マシーンを絶対に使用しないでください。事故や破損部の拡大の原因になります。また、運送保険の適用を受けることができなくなります。

- マシーンの到着より点検、確認、連絡まで５日以上経過していますと、運送途中のトラブルが原因の修理に対して運送保険の適用が受けられなくなり、有料になる場合がありますので予めご了承ください。

もくじ

安全上のご注意……1

マシーンの特長……5

マシーンが到着したら……5

もくじ……5

マシーン使用前に確認していただきたいこと……6

各部の名称……7

マシーンの使用手順……9

使用ボールと各部のチェック … 12

各部の点検及び調整方法…… 13

トラブルシューティング…… 19

警告シールについて（一覧）……20

仕様……21

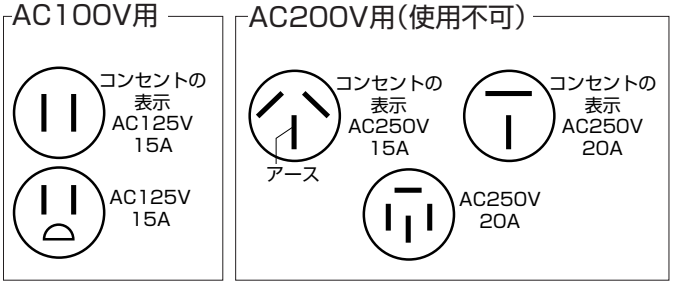
消耗品について……21

アフターサービスについて …… 22

マシーン使用前に確認していただきたいこと

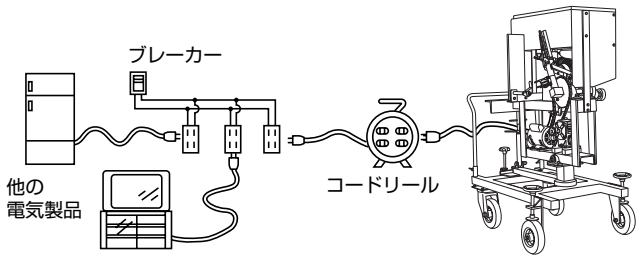
- マシーンに使用するコンセントの形状を確認してください。
- マシーンに使用するコンセントに流れている電圧をテスターで実測してください。
- 使用するコンセントを変更する場合も同様に実測してください。
- この商品は**AC100V専用**です。モーターが破損しますので**AC200Vでは絶対に使用しないでください**。
- マシーンに使用するコンセントは、**単独回路（20A）**で使用してください。
  下図に示すような状態で使用した場合は、ブレーカーが落ちることがあります。

【代表例】

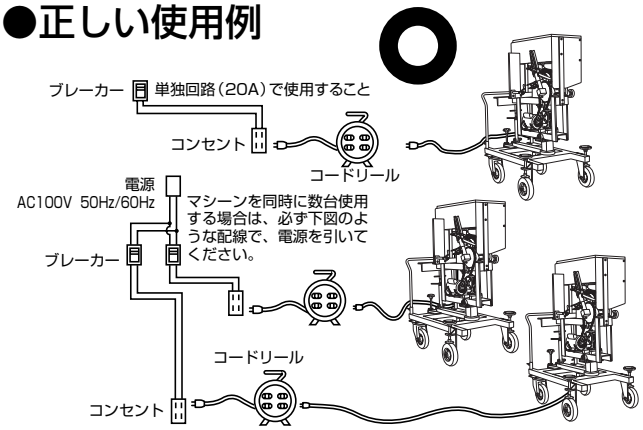


コンセントの表示又は型式により電圧を自己判断するのは危険です。必ずしもコンセントの形状に合った電圧がきているとは限りません。テスターにより、電圧を実測してください。

●誤った使用例 ✖



●正しい使用例 ○

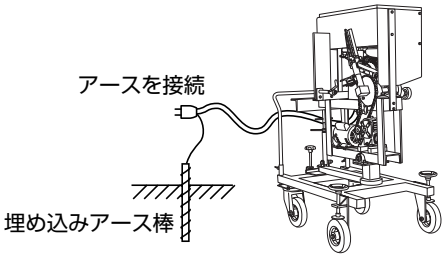


- マシーンに使用するコンセントのブレーカーは**20A（アンペア）以上**を使用してください。
- マシーン使用前には、必ず、リード線に傷などが入っていないことを確認してください。万一、被覆に傷があり、**銅線が見えている場合は、絶縁テープで銅線を覆ってから使用**してください。
- コードリールを使用する際、マシーンからコンセントまで距離が短い場合でも、**コードは必ず全部引き出し**てください。
- コードリールの、全巻時の**最大定格電流は7A**です。全て引き出したときに、**定格電流は15A**になります。（100V・50m・15A用）
- 電源に発電機を利用する場合は、**1.8kw以上**の商品を使用してください。

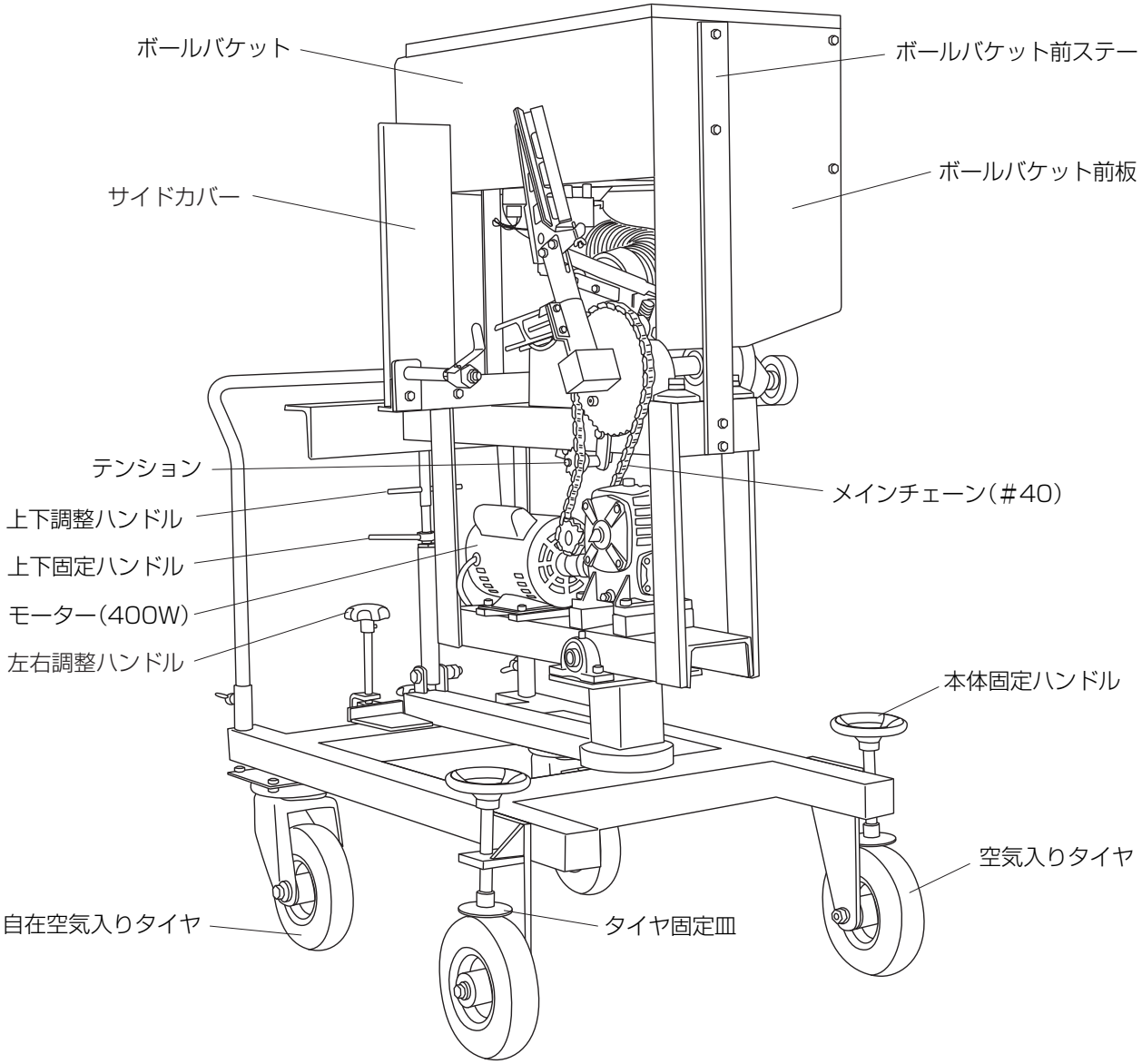
注）20A(アンペア)以下のブレーカーを使用すると、マシーンの電源スイッチを入れ、速度を上げる途中でブレーカーが落ちる場合があります。（容量不足）

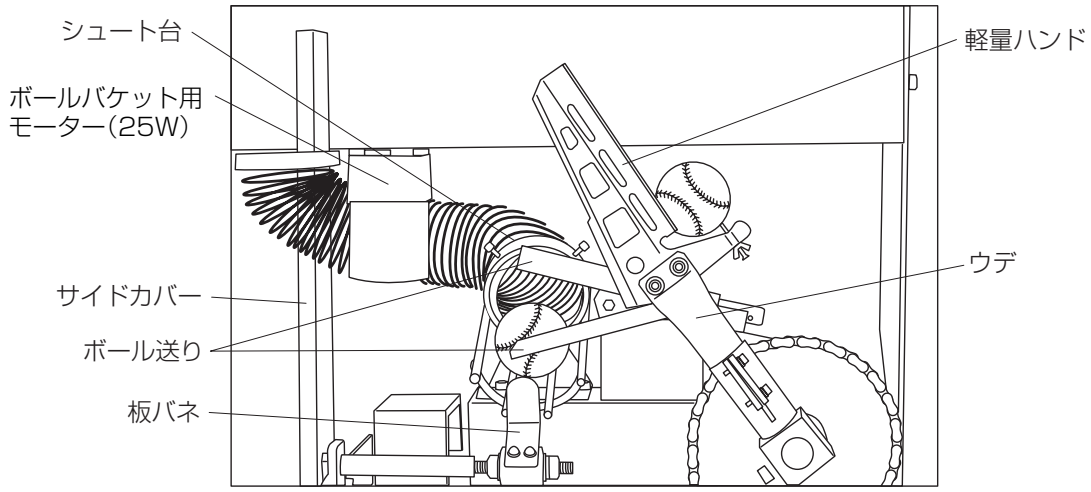
注）コードリールは全巻時7Aを超過した場合コードが発熱し、被覆が溶けてショートして燃えることがあり、大変危険です。

- コードリールはプラグ1つで15A以下か、または4つのプラグ合計が15A以下で使用してください。

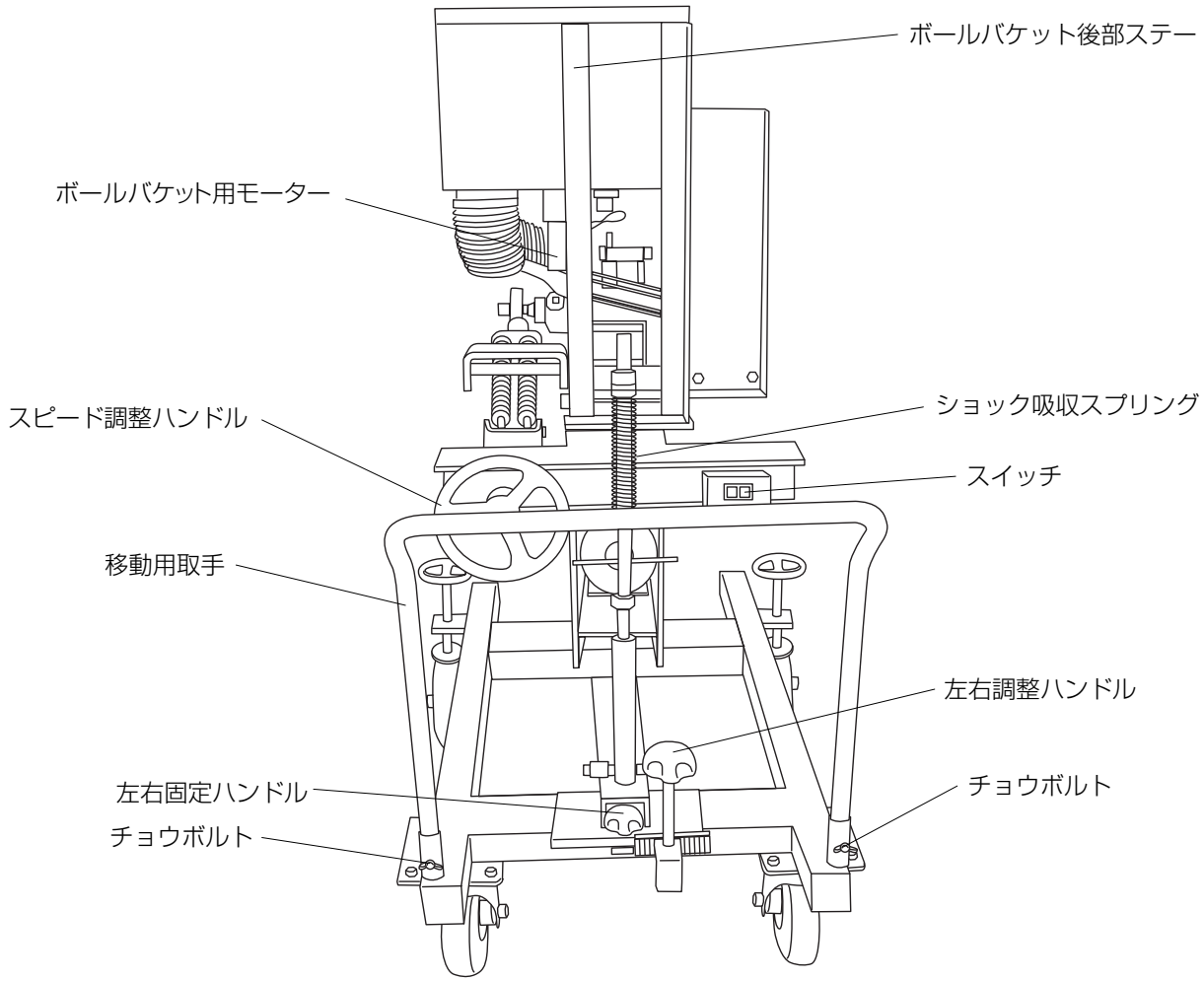


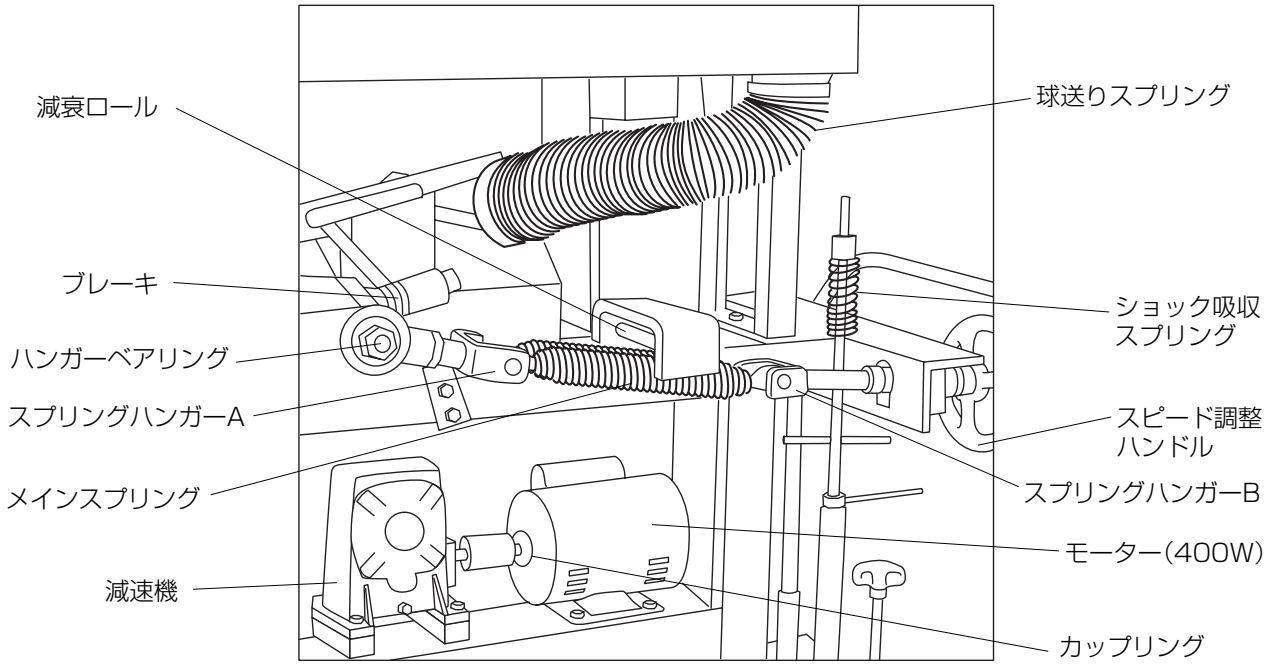
各部の名称


ボールバケット
ボールバケット前ステー
サイドカバー
ボールバケット前板
テンション
メインチェーン(#40)
上下調整ハンドル
上下固定ハンドル
モーター(400W)
左右調整ハンドル
本体固定ハンドル
空気入りタイヤ
自在空気入りタイヤ
タイヤ固定皿


シュート台
軽量ハンド
ボールバケット用
モーター(25W)
ウデ
サイドカバー
ボール送り
板バネ

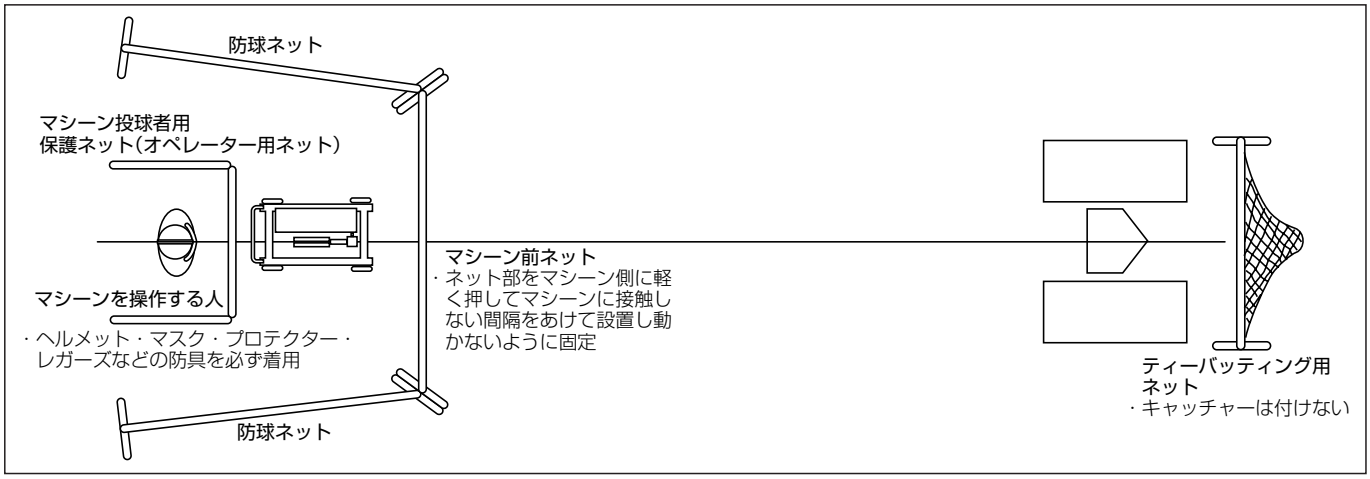
各部の名称


ボールバケット後部ステー
ボールバケット用モーター
スピード調整ハンドル
ショック吸収スプリング
スイッチ
移動用取手
左右調整ハンドル
左右固定ハンドル
チョウボルト
チョウボルト

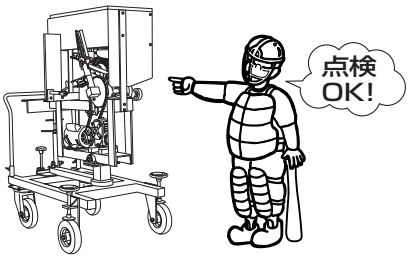

減衰ロール
球送りスプリング
ブレーキ
ショック吸収
スプリング
ハンガーベアリング
スプリングハンガーA
スピード調整
ハンドル
メインスプリング
スプリングハンガーB
モーター(400W)
減速機
カップリング

マシーンの使用手順

- 「安全上のご注意」（P1～4）をよく読んで使用してください。
- 電源に発電機をご使用の場合は、**発電機の取扱説明書をお読みの上操作**してください。
- マシーンとホームベースの関係、及びマシーン前ネット・ティーバッティング（トスバッティング）用ネット・マシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を下図の要領で配置してください。（**安全を考え配置**してください）また、投球者はヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を必ず着用してください。

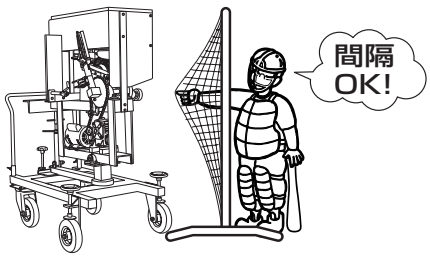


1. マシーンを使用位置に移動させマシーンを設置し、本体固定ハンドルでマシーンを固定します。



2. マシーン前ネット・マシーン投球者用保護ネット（オペレーター用ネット）を設置し、マシーンを使用する人は安全の為に必ずヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズなどの防具を使用してください。

3. マシーン本体や使用するネットに異常箇所がないか点検してください。



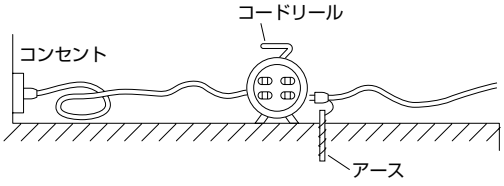
4. コードリールを全て引き出し、マシーンの横で打球の当たらないところに設置してください。

5. ボールバケットにボールを入れてください。

6. スイッチがOFFになっていることを確認し、アースを接地した後、プラグをコンセントに接続します。

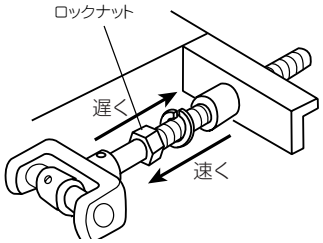
7. マシーン付近やバッターボックスに人がいないことを確認し、アームなどの回転物に接触物がないか確認した上でスイッチをONにし、必ず声をだし合図をしながら試投してください。

※試投の際には必ずバッター・キャッチャーはバッターボックス付近に近づかないでください。



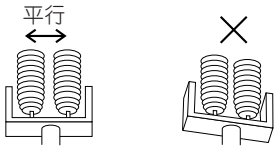
マシーンの使用手順

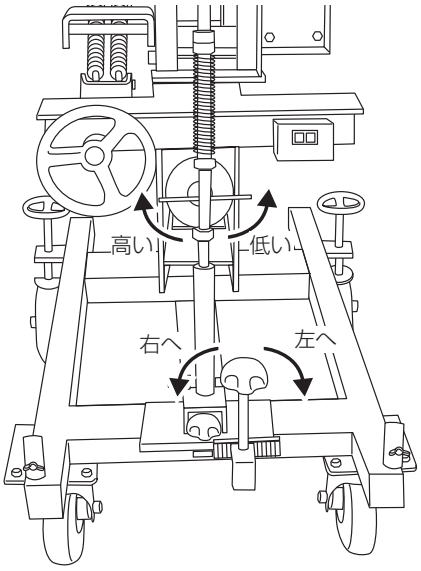
8 ボールが遅い場合は、スピードを調整します。ロックナットを前方へ回すとスピードは速く、後方へ回すとスピードは遅くなります。
ロックナットがきっちり締まるまでスピード調整ハンドルを回してください。



※スプリングをゆるめすぎると外れる恐れがあります。

※ロックナットを締めるときはスプリングが左右平行になるようにしてください。



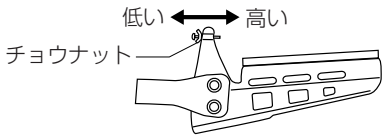


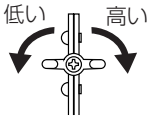
※スピード調整ハンドルで調整したあとは必ず試投してコントロールの確認をしてください。

9 コントロールを確認していきます。ボールが上下にずれている場合は、上下調整ハンドで調整します。上下固定ハンドルをゆるめ右に回せばボールは高めに左に回せばボールは低めに投球されます。ボールが左右にずれている場合は、左右調整ハンドルで調整します。左右固定ハンドルをゆるめ投球者から見て右に回せばボールは左側へ左に回せばボールは右側へ投球されます。

※投球高さはハンド部の高さ調整ネジによっても調整することが可能です。

ボールが高めに投球される場合





チョウナットをゆるめ、ネジを左に回すと、投球が低めになります。調整したあとは必ず、チョウナットを締めて固定してください。右に回すと高めになります。

10 調整が終われば上下固定ハンドル左右固定ハンドルかきっちり締まっているか確認してください。

11 試投が終わりましたら、再度安全に注意をして使用してください。

12 マシーンの使用が終了したら、投球後すぐにスイッチをOFFにしてください。

13 スピード調整ハンドルをゆるめてください。

⚠ ハイスピードの状態で停止させていると、始動時にモーターに大きな負担がかかり、始動しない場合があります。又、スプリングの耐久性が落ちる原因となります。（スプリングがのびてしまいます。）

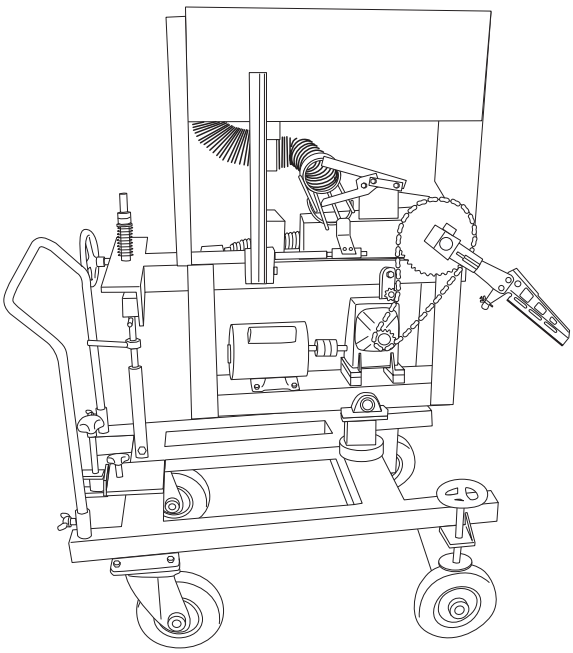
マシーンの使用手順

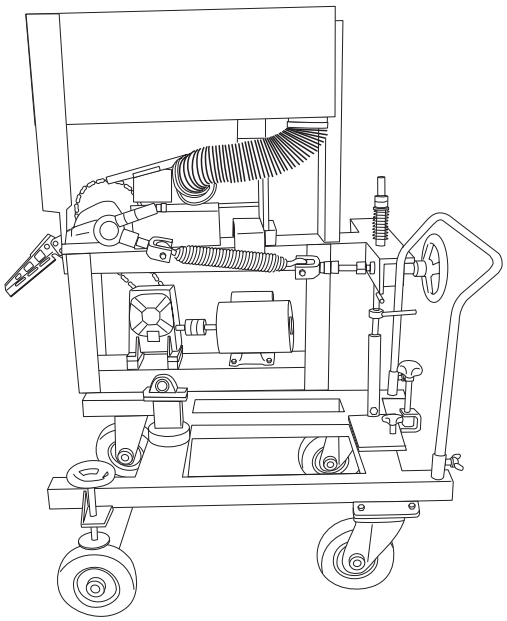
⑭プラグをコンセントより抜き、アースを外します。

⑮本体固定ハンドルをゆるめマシーンを移動してください。
（移動の時にはハンドなどを持たないようにしてください。ハンドが曲がりコントロールが悪くなります。）

⑯ボールバケット内へのボールの補給は、投球後すぐにスイッチをOFFにし、マシーンを停止した状態で行ってください。

> ⚠ マシーンが2〜3回空打ちをしても、マシーンを停止させるまで、絶対にマシーンの前に出ないでください。ボールバケット内にボールが残っている場合があります。





使用ボールと各部のチェック

よりよいコントロールを得る為と故障防止の為に

- 下記のようなボールは使用しないでください。
  ウレタンボール、レインボール、革ボールなど、種類の違うボールをまぜて使用しないでください。硬式球にて、革の浮いたボール、糸の切れているボール、水を含んだ重いボールは使用しないでください。

- ボールバケット内での球づまりはマシーンの故障原因となります。また、コントロールも乱れ事故につながる危険性もあります。
  ※特に革の浮いたボール、糸の切れているボールはボールバケット内にて球づまりや、ボール出口とボール送りレバーとの間にはさまれる可能性が高いです。万一はさまった場合バケット用モーターがロックされる為、モーターの焼失につながります。（保証外）

マシーンのチェックポイント

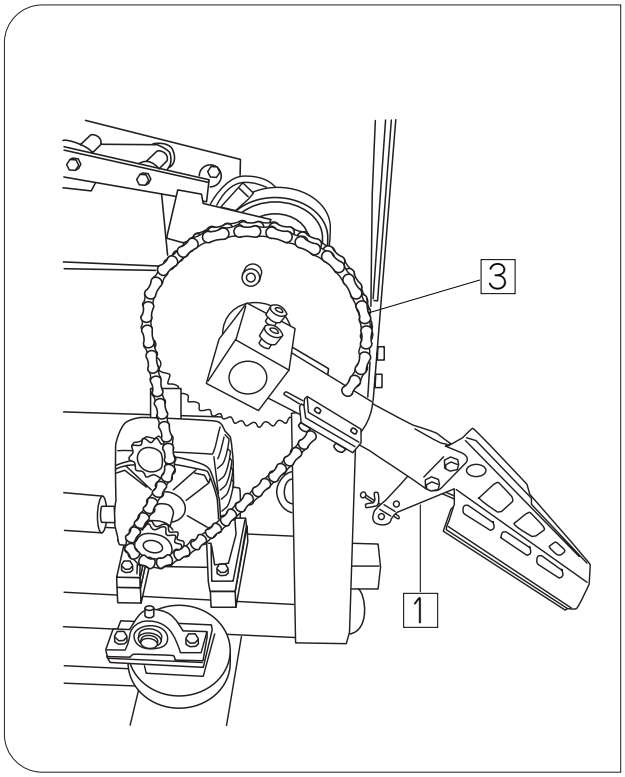
- 安全にご使用していただく為、必ず次のことを使用前に確認してください。

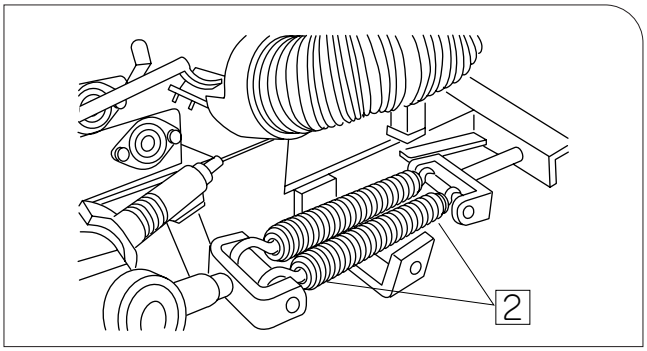
1 ウデ、ハンド部に亀裂などがないか

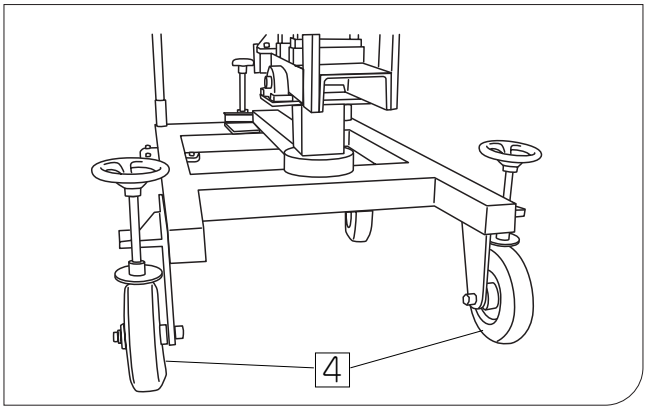
2 スプリングが正しくかかっているか

3 チェーンが切れていないか、油切れをしていないか

4 タイヤの空気は正しく入っているか







各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が行ってください。

㊟このマシーンの各部の調整・部品の交換に際しては、必ずマシーンのスイッチを切り、部所によってはスプリングをはずした状態で行ってください。

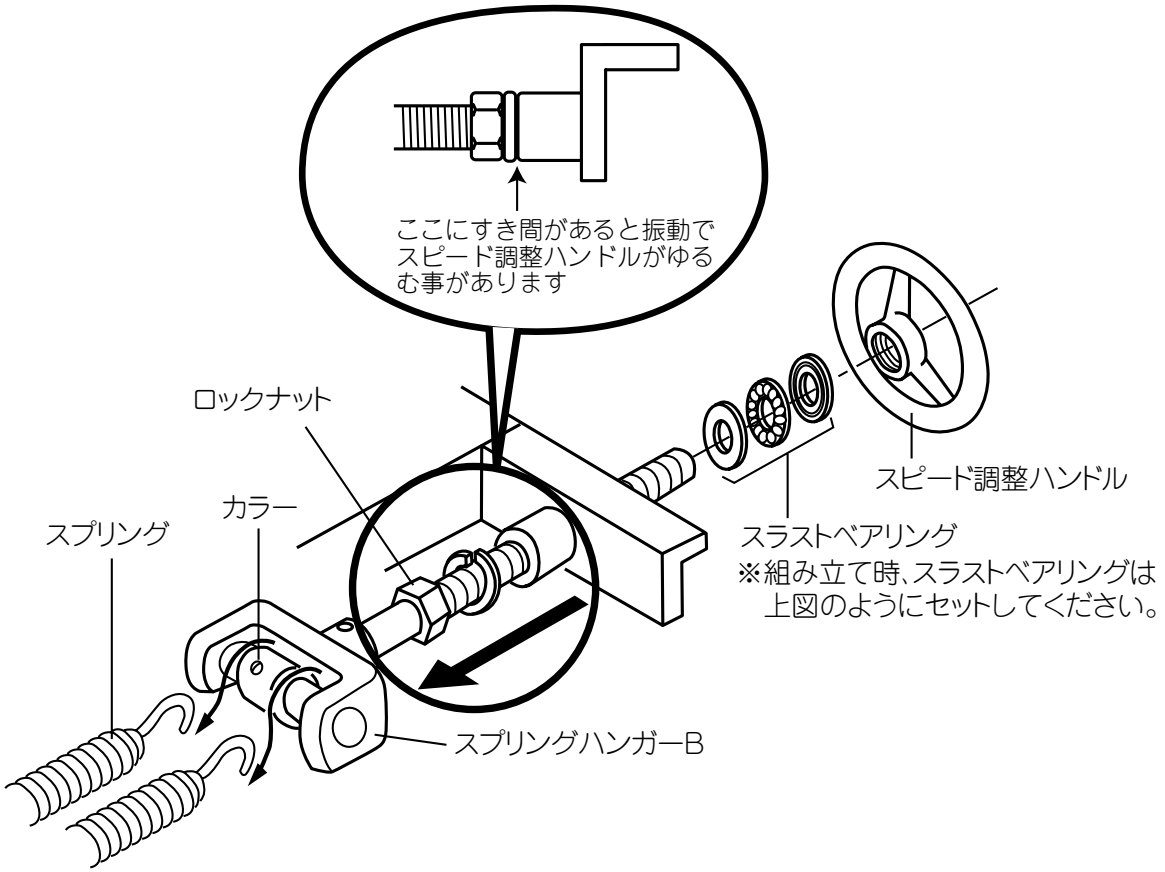
スプリングの交換

●スプリングは消耗品です。もし切れた場合は2本同時に交換をしてください。

（1本のみ切れた場合も、残りの1本も寿命が近づいていると考えられます。）

スピード調整ハンドルを左に回し抜き取りスプリングハンガーを→印側に抜き取りスプリングを付け替えます。

取り付けは逆の順番で行います。



㊟ひっぱった状態で保管しないでください。（スプリングがのびてしまい速度が出なくなることがあります。）

㊟スプリングがさびないように油を差してください。（スプリングがさびると、折れやすくなります。）

㊟スプリングは専用品以外使用しないでください。（故障の原因につながります。）

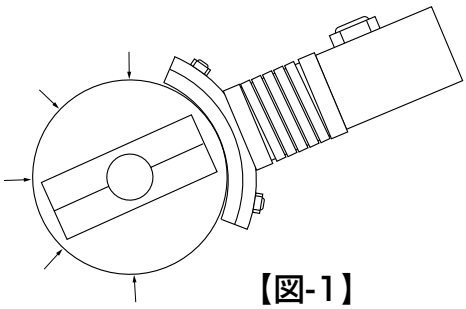
各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が行ってください。

給油について

マシーンをよりよい状態に保つために防錆スプレーまたは、潤滑油スプレーにて、下記の部分に給油をしてください。

○チェーン　○メインスプリング　○上下調整ハンドル　○スピード調整ハンドル　○左右調整ハンドル（P7、8各部の名称参照）　○カム**【図-1】**



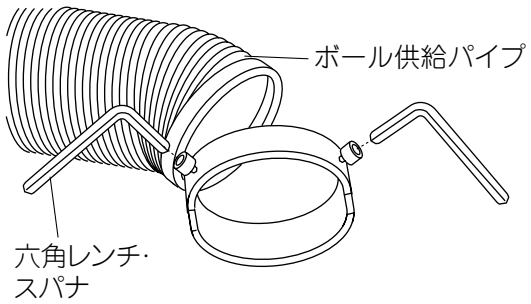
【図-1】

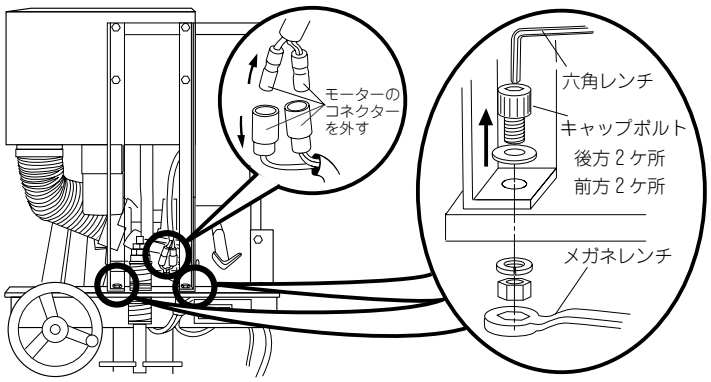
ボールバケットの取り外し方

1ボール供給パイプを図の所で外します。

2ボールバケットの右後部の所でボールバケット用モーターのコネクターを外します。

3ボールバケットの支柱3本の下のキャップボルト（4本）とナットを付属の六角レンチとメガネレンチで取り外します。（※必ずナットを先に外してください。）
これで本体とボールバケットは分離できます。





各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が行ってください。

ウデ・ハンドの交換

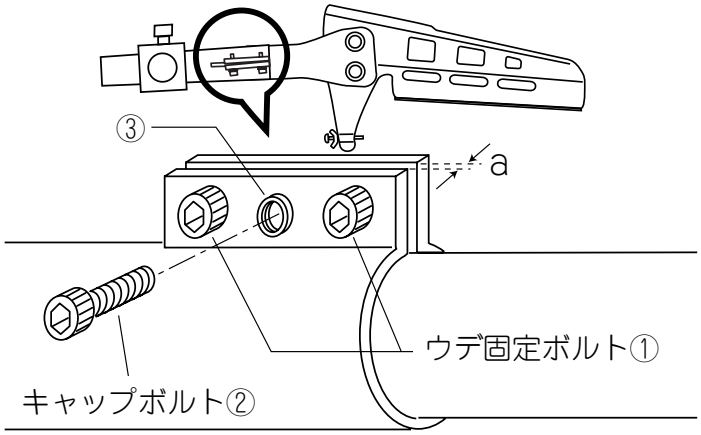
●ウデ・ハンドは消耗品です。亀裂などの症状が出始めると寿命ですので交換をしてください。

ウデパイプの抜き取り

1ウデパイプのウデ固定ボルト①を付属の六角レンチでゆるめます。

2付属のキャップボルト②を③の穴に締め込むことによりａのすき間が開いてウデパイプを抜くことができます。

ウデの交換



ハンドの交換

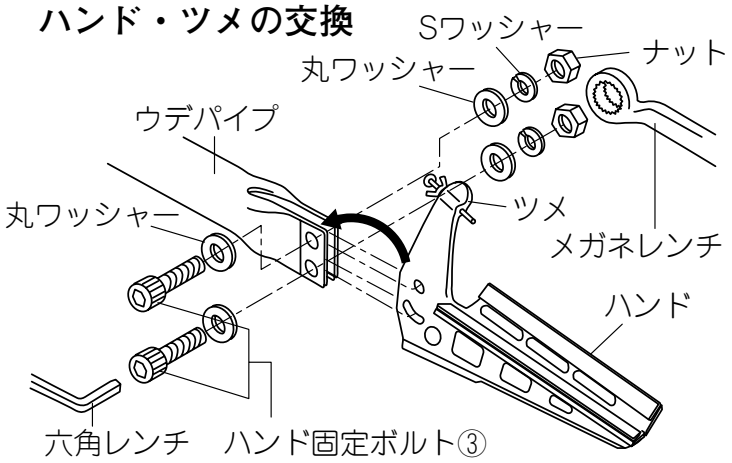
1ハンド固定ボルト③を六角レンチとメガネレンチで外して、新しいハンドを取り付けます。

2ハンドを取り付けたウデをマシーン本体の奥まで差し込み（確実に奥まで差し込んでください。）キャップボルト②を抜き取ってからウデ固定ボルト①を締めてください。

※片方のボルトだけを締めつけず必ず両方のボルトを均等に締めてください。

※抜き取ったキャップボルトはなくさないように保管しておいてください。

ハンド・ツメの交換

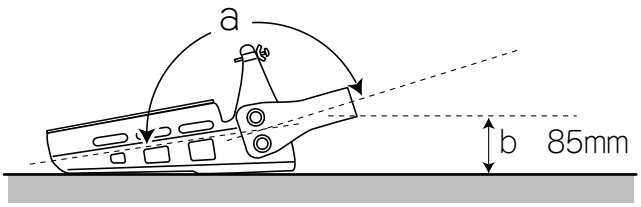


各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が
行ってください。

ハンドの調整

●ハンドの角度ａが小さいとボールは低めになります。少しの角度ズレでも大きくコントロールが変わりますので、水平の台にハンドを置き下図を参考に角度の調整をしてください。



（出荷時寸法ｂは85mmでストライクになるように調整されています。）

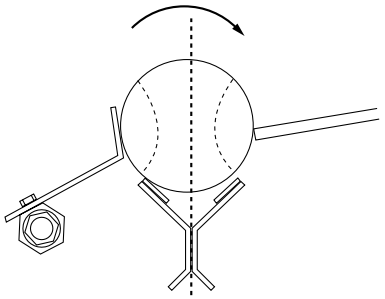
㊟締め具合いがゆるいとハンドとアームの角度が変りだんだんと高めに投球されるようになります。

各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が行ってください。

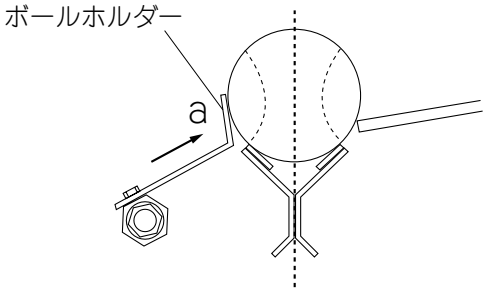
ボールホルダー部の調整

コントロールが悪い場合にボールホルダーの位置が適切でないことがあります。投球時にマシーンサイドおよび後方側より見て、ハンドがボールを拾い投球する時にボールがハンドの上で静止していないとコントロールが悪くなります。

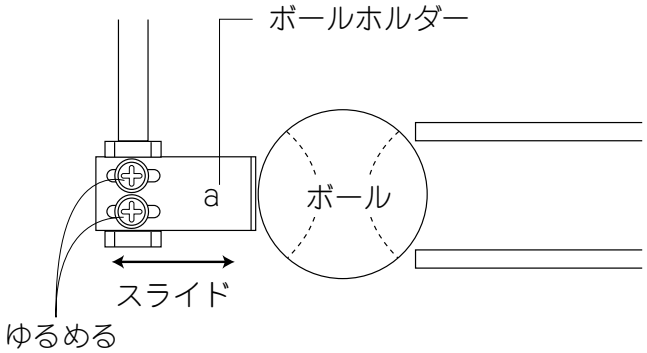


ハンドが下方よりボールを受ける場合、ボールが左右によろける。

上図はボールが右によろけます



ボールホルダーをスライドさせハンドのセンターにボールのセンターがくるようにaのホルダーをスライドさせ調整します。

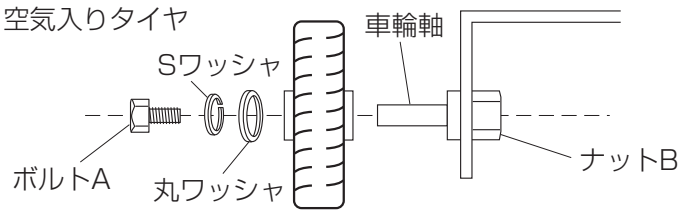


⚠ 安全のために、必ず、スプリングをはずしてから作業を行ってください

空気入りタイヤの交換

ボルトAを抜いてタイヤを抜いてください。空回りするときはナットをおさえながらボルトAを抜いてください。

空気入りタイヤの空気はチェックしてください。タイヤに空気が入っていないと振動が大きくなり、コントロールが悪くなったりマシーンの耐久性が低下します。空気は市販の空気入れで入れることができます。



各部の点検及び調整方法

※マシーンをよく理解された方が行ってください。

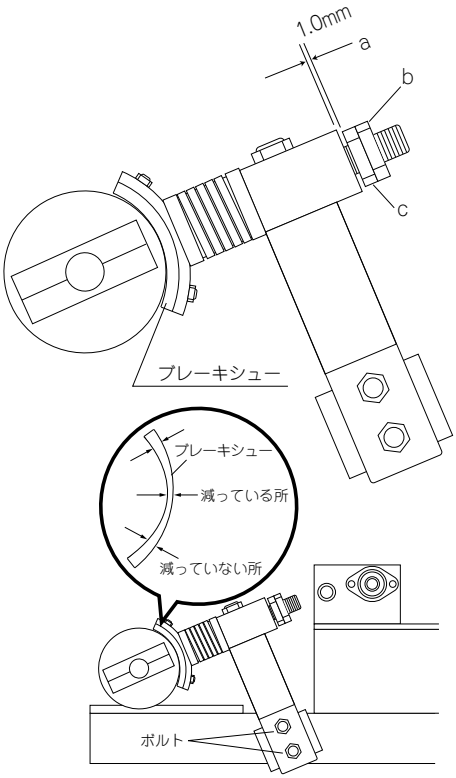
ブレーキの調整方法

- ブレーキの制動があまくなってきますと、マシーン投球時の振動が大きくなりコントロールが悪くなってきます。
  このような時は、ブレーキの調整、またはブレーキシューの交換が必要です。

ブレーキの調整

ブレーキがきいている状態にてａの箇所に1.0mm程度のすき間があるのが正常です。ブレーキのききが悪い場合このすき間が無くなっています。
ｂ、ｃのナットを左に回転させａの箇所にすき間をつくってください。
1.0mm程度のすき間が出来ればｃのナットにスパナをかけ固定しｂのナットを右に締め付けロックします。
もしブレーキがききすぎている時も、ａのすき間を1.0mm程度に調整してください。

（ハガキ１枚が0.25mmですから４つ折りにして入る程度のすき間が適切です。）



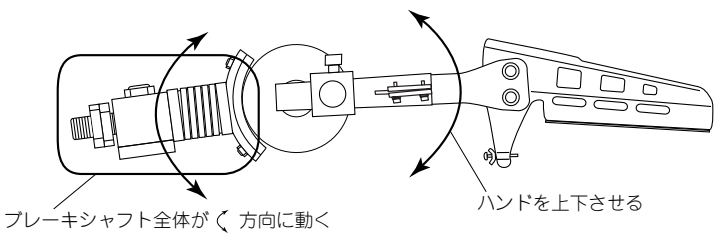
上図①のナットを２ヶ所取りはずしブレーキユニットを取りはずし販売店に持ち込んでください。

ブレーキシューの交換

- ブレーキシューが減ってない所と比較して3分の1までうすくなりましたら取り換えの時期です。販売店にご依頼ください。

注意

下図のようにハンドを手で上下に動かし、ブレーキシャフト全体が上下に大きく動く場合は、ブレーキ全体の取り替えが必要です。販売店にご依頼ください。

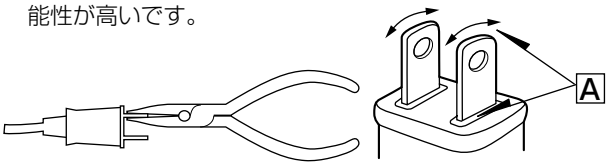


トラブルシューティング

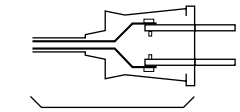
①スイッチを入れても作動しない

〈確認〉	〈方法〉
●コードリールに電気はきてますか。	→ 他の電気製品又はテスターでチェック。
●スイッチ内部が破損していないか。	→ スイッチのふたをあけて確認。
●リード線の内部、及び途中で断線してないか。	→ スイッチ内部にてテスターでチェック。
●スプリングを引っ張った状態でスイッチを入れてないか。	→ スイッチを切り、スプリングをゆるめて再度スイッチを入れ確認。
●ボールバケット内のモーターは回転していますか。	→ ボールバケット内を確認する。
	→ 回転している場合は、スイッチからメインモーターまでの配線をチェックしてください。

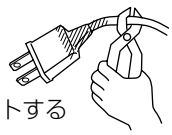
●図のようにプラグの先をペンチで引っ張り、抜けないか確認してください。
断線している場合は抜けることがあります。
●図のＡ部分が熱により溶けていびつになり、すきまができている場合も断線の可能性があります。
●図のA部分が矢印方向にぐらつく場合も内部で断線している可能性が高いです。



●プラグの根元部分は、酷使される為、図の斜線部分の内部で断線していることが多く見られます。
プラグの断線はマシンが作動しないときの多くの原因となっています。このようなときは、市販されているプラグと交換してください。



この間で断線している
ことが多く見られます



ここでカットする

②ボールが落ちてこない

●ボールバケット内の円板に取り付けているウレタンが欠落していませんか。

→ボールバケット内を確認。
欠落している場合はビス２本をはずしウレタンの向きを換えて取り付けてください。

●ボールバケット内の円板が回転していますか

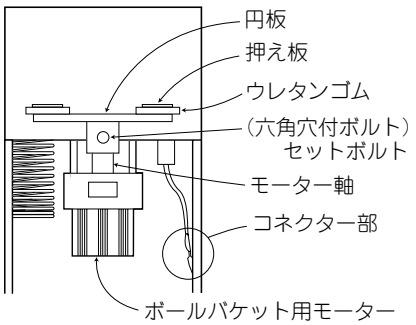
→ボールバケット内にて円板部にボールがかみ込んでいないか、ボールを取り出し確認。

→ボールバケット内に異物が入っていないか確認。

→ボールバケット用モーターのコネクターが抜けていないか確認。

→円板下部のセットボルトがゆるんでから回りしていないか（モーター軸のみ回転しているが円板は回転していない）六角Ｌ型ハンドルにて締め付けてください。

→コネクター部分をテスターでチェック。



①、②の処置をしても作動しない場合は、モーターの交換の必要がありますので販売店にご相談ください。

警告シールについて（一覧）

製造番号	No.
製造年月	200　年　月

株式会社トーアスポーツマシーン
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES
製造元 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号
電　話 大阪（06）6552−8247（代表）

品番

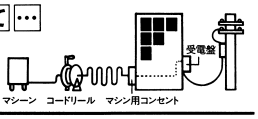
注意事項

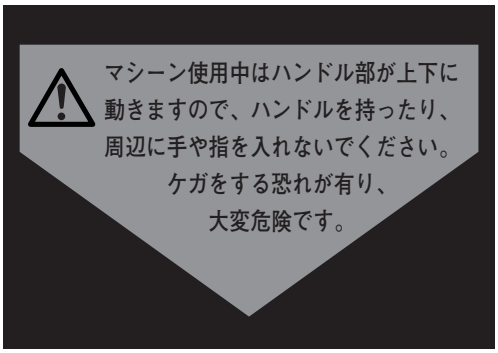
漏電による感電を防ぐために…

- 必ずアースを接続してください。
- マシーンを濡らさないよう願います。
- 雨が降り始めましたら、直ちに使用を中止してマシーンを濡らさないような処置をしてください。

電気配線について…

電気配線が長すぎる場合や、コードがドラムに巻かれた状態のままでの使用は、電圧低下をまねき、ピッチングのスピードダウンの原因になります。このような場合は、電気工事店にご相談ください。電気配線はできるだけ短く、コードリールは伸ばして配線してください。（詳しくは電気工事店にご相談ください）





硬式専用

⚠表示されているボール以外は使用しないでください。大変危険です。

⚠ 危　険

- ⃠ マシーン調整及び試投時は、キャッチャー・バッターは付けないでください。
- ⃠ マシーン作動中は絶対にマシーンの前には出ないでください。
- ⃠ マシーン作動中にボールの補給をしないでください。
- ⃠ マシーンに附属されている部品等は取りはずして使用しないでください。
- ⃠ 投球直前でマシーンを停止させないでください。
- ⃠ 各回転部には、手や物などを近づけないでください。
- ⚠ マシーン前ネットは必ず設置してください。
- ⚠ マシーンのオペレーターは、安全のため必ずヘルメット及び捕手用の防具を着用してください

⚠ 注　意

- ⚠ コードリールは全て引き出して使用してください。
- ⚠ アースを必ず接続して使用してください。
- ☞ ハンド、アーム部、スプリング等に亀裂がないか、各ボルト類等にゆるみがないか、運転前点検を行ってください。
- ☞ マシーン使用中は常に周囲の安全を確認してください。
- 使用中に万一、異常が発生した場合はすぐにスイッチを切り、コンセントを抜いてください。
- ☞ マシーンの操作は、マシーンを良く理解された方が行ってください。子供には、操作させないでください。

モーターが始動中に停止したときはすぐにスイッチを切ってください。その状態で放置しますと、モーターの焼失につながります。電源の電圧低下の恐れがあります。電圧の確認をしてください。

⚠ 注　意
移動の際には、必ずこの部分を持って移動させてください。

⚠ 注意
使用前に必ず亀裂等がないか確認してください。
そのまま使用すると、ウデが破損して飛んでいく恐れがあり大変危険です。
亀裂等の異常がある場合は交換をしてください。

マシーン本体に貼ってあるシールがはがれたり、消えたりした場合は、すぐに販売店に連絡してください。無償にて送付致します。
また、ここに掲載されているシールは、実物大とは異なりますので予めご了承ください。

仕　　様

ピッチング速度	MAX110～140km/h(硬式)
用途分類	硬式専用
使用電源	AC100V，50/60Hz
電動機	ACモーター400W×1台(メイン),ACモーター25W×1台(ボールバケット)
定格電流	6A
寸法	約たて102cm×よこ86cm×高さ150cm
投球口高さ	約133cm
本体総質量	約210kg
付属品	六角レンチ(2本)，メガネレンチ(1本)，マシーンカバー

消耗部品について

下記部品は消耗部品ですので、交換が必要となっております。

●交換部品

スプリング、ハンド、アーム、パッドブレーキ全体、ブレーキシュー、減すいロールユニット、チェーン、バケット内ウレタン、スプリングハンガーA、スプリングハンガーB

アフターサービスについて

このアームマシーンBAFタイプには保証書を別途添付してあります。

保証書について

保証書は販売店でお渡ししますから、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証期間中に修理をお受けになる場合は、恐れ入りますがお買い上げの販売店にご相談ください。
※保証期間中でも、有料修理になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●保証期間を過ぎているときは

まずお買い上げの販売店にご相談ください。
修理により、商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

サービスをご依頼される前に

この説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
その際、製品番号（商品名)、および品番、故障内容を詳しくお申し付けください。

操作及び取り扱いミスによるマシーンの故障・損傷は保証外になりますのでご注意ください。

ホイールの（再製）修理に関しては行っておりません。

工場定期点検について

ピッチングマシーンは使用開始後、2〜3年経過毎に必ず工場定期点検〈有料〉が必要となっております。

工場定期点検では未然に故障・事故の発生を防止し、常に良い状態で安全にご使用いただく為に各部品の点検・調整を行います。

工場定期点検は工場到着後約10日間(実働)で完了いたします。別途部品交換〈有料〉が必要な場合は最大約14日(実働)が追加で必要になります。(時期によっては異なる場合があります。)

※商品のご持参、お持ち帰りの交通費、また、送付される場合の送料、梱包費、その他の諸掛り費用はお客様のご負担となります。(適切な梱包の上、ご送付ください。)ご返送の場合も同様にお客様のご負担となります。
ご不明な点がございましたら、ご購入された販売店様にご相談ください。

☆商品の仕様は予告なく変更・改良する場合がありますので、あらかじめご了承願います。

製造元
株式会社トーアスポーツマシーン
BASEBALL PITCHING MACHINE & SPORTS MACHINES
本　　社 〒551-0031 大阪市大正区泉尾6丁目6番12号 TEL.(06)6552-8247
松阪工場 〒515-0041 三重県松阪市上川町長楽3456-2 TEL.(0598)28-6669

07.7.05 HT
06.1.10 HT